

研究所に持参したところ、その完成度に感心してもらえ、その後数年間同研究所の大学院生のための参考文献に使われていたそうです。Bさんもやはり、この研究を通じて医学への志望を固め、現役で千葉大学医学部に進学しています。

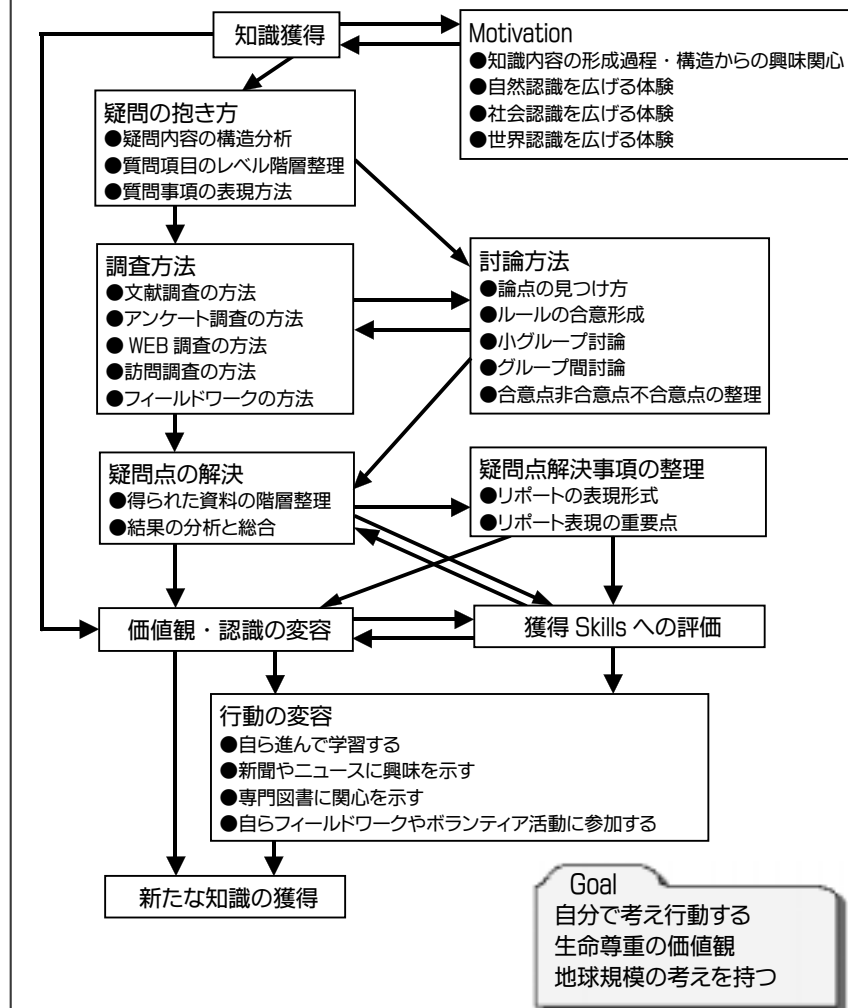
この二人はほんの一例です。私は年間十数人の生徒を担当しますが、どの生徒の場合でもそれぞれのストーリーを披露できます。特殊例ではありません。この個人課題研究はこれまで積み上げてきた Study Skills の総復習であり、レベルのジャンプであり、価値観や認識の変容、行動の変容への貴重なステップです。だからこそ、茗溪学園では高校2年の後半、大学受験勉強一色にせずにスポーツや芸術に加え、さらに論文の完成も厳しく課しています。

☆

前回と今回は、茗溪流 Study Skills の紹介ということで、総論とその断片を紹介しました。

次回以降は各 Skills の個別の話や、これらベースになる Skills のうえにハイレベルの英語力を構築している話を紹介させていただきます。

Study Skills, Learning Skills MEIKEI METHOD



該当する項目を全学年の全科目・教科外活動に割り当て、高校2年の個人課題研究までに、スパイラルな構造になるように表現

田代 淳一

たしろ じゅんいち

茗溪学園中学・高校 広報部長



化学の教師です。茗溪学園では前向きで明るく逞しく積極的な青年が育っています。「有名大学に行きたいから勉強する」のではなく、「中学・高校時代にいろいろな事に挑戦し、失敗し、考え、自分を探して、自分で自分の将来をみつけ、自分で歩いていく。その方向が地球を救い、人類の未来を拓く方向であってほしい。」そう考え、支援するのが茗溪学園の教員の役割です。海外生・帰国生が自分の力で自分の未来を切り拓いてきた経験はここで開花します。これまでたくさんの帰国生が、夢を追いながら進学していく姿を見て応援してきました。よろしくお願いします。

茗溪学園中学校高等学校

〒305-8502 茨城県つくば市稲荷前 1-1

TEL. 029(851)6611 (代) FAX. 029(851)5455

www.meikei.ac.jp/

編集長から一言

アメリカの教育の中で最も重要だとされているスタディ・スキルの指導を、意図的に実践している日本で唯一の学校、茗溪学園からの貴重な

報告です。

前回に続き、スタディ・スキルの成果の紹介です。A君・Bさんとともに成功例に見えますが、田代先生は「ほんの一例」としています。次回からは、スキルのトレーニングの具体的な内容を紹介していただけるようです。期待しています。

上のスタディ・スキルのトレーニングの概念図は、掲載用に編集するのに苦労しました。勉強にもなりました。私が、トレーニングを受けているようです。